

# 活動報告

学生自治会はよりよい学生生活のために、さまざまな活動を行っています。  
ここでは、どのような活動を行っているのかを紹介します。

## 要望書について

### (1) 要望アンケートの実施

9月26日から11月15日にかけて、中百舌鳥キャンパスおよびりんくうキャンパスの学生を対象に、学生生活に関する要望アンケートを実施しました。また、インターネット上でも、同様のアンケートに回答できるページを設置しました。

### (2) 要望書案の作成

要望アンケートや意見箱などに寄せられた要望・意見をもとに、要望書案を作成しました。また、要望内容の補足や裏付けとなる調査結果、問題に対する改善案などを掲載した要望書資料も合わせて作成しました。

先日のアンケートへのご協力ありがとうございました。このアンケートをもとに作成された要望書案は2013年度後期自治総会で提議されます。

みなさんが回答したアンケートがどのような要望書となるのか見届けたい方は、12月5日(木)の後期自治委員会総会にお越しください。

## 情報収集・情報宣伝

### (1) 学生の意見や大学の情報の収集

意見箱やアンケートなどの情報収集手段を活用し、学生の要望・意見を収集しました。また、寄せられた要望・意見は学生自治会の活動の参考にするとともに、必要に応じて大学など関係各所に伝えました。また、学生自治会からの回答は、意見箱横の掲示、『NASCA』、ウェブサイトに掲載しました。

### (2) 学生生活に関わる情報の宣伝

『NASCA』やウェブサイトなどの情報宣伝手段で、大学や学生自治会の情報を発信しました。また、8月下旬より、『Twitter』を活用した情報宣伝を開始しました。

学生自治会公式『Twitter』  
@opu\_zichikai



## 学域・学類制の導入について

学域・学類制の導入に伴い、学域・学類生および学部・学科生に不都合が生じていないか確認を行いました。その結果、以下の不都合が生じていることが確認されましたため、奥野武俊学長および前川寛和副学長とそれぞれ話し合いを行いました。その結果、以下の回答を得られました。

- ・現代システム科学域の学生が進学するための大学院が整備されていない。

→6月27日奥野学長からの回答

現代システム科学域の大学院は、早急に整備する義務があると認識している。

- ・一部の学類では3年次以降の時間割が不明であり、長期的な履修計画を立てることが困難である。

→6月25日前川副学長からの回答

担当される教員の都合があるため、今すぐに公開することはできないが、できるだけ早く公開できるようにしたい。

- ・応用生命科学類では、1年次の必修科目の単位を修得していることが、各課程の実験科目を受講するための条件になっているため、万が一必要な単位を修得できなかった場合、1年次の時点で、留年が確定してしまう可能性がある。

→11月14日前川副学長からの回答

まだ、学域・学類制の第1期生が卒業していないため、今すぐにカリキュラムを変更することはできない。しかし、課程配属に必要な科目の内、クラス分けを行っている科目では、成績評価の方法によって不公平が生じないよう、善処していきたい。

- ・物質化学系学類では、出席番号によって授業のクラスが前期と後期に分けられているため、受講できる科目に大きな差がある。

→11月14日前川副学長からの回答

現在は設備の大きさの都合上、クラス分けを行っている。今後、各科目を担当される先生方と検討を行い、学生に不公平が生じないように改善していきたい。

## 府大と市大の統合について

府大と市大の統合に関して、大阪府や大阪市などのウェブサイトを通じて情報収集を行いました。また、情報収集にて得られた情報は『NASCA』や『Twitter』を活用し、学生に対して発信しました。

また、6月上旬から7月下旬にかけて、『府大と市大の統合に関するアンケート』を実施しました。このアンケートの集計結果は、A6棟横学生自治会掲示板に掲示するとともに、8月12日に奥野武俊学長に提出し、「府大と市大の統合」を含めた大学改革に際して、このアンケートに寄せられた学生の要望・意見を参考にしよう伝えました。

『府大と市大の統合に関するアンケート』にて、「統合に関する議論が行われていることは知っているが、具体的な内容については知らない」などの回答が多く寄せられました。そこで、『NASCA vol.38』にて、大阪府・大阪市・府大・市大によって公開されていた情報(平成25年8月27日時点)をまとめた記事を掲載し、学生に対して統合に関する情報の発信を行いました。

また、第2期中期計画をはじめとした大学の運営計画は、府大と市大の統合に関する議論の一環としての計画自体の見直しが行われ、注視すべき点がいくつもあります。これらの計画について注視し、学生に情報の発信をしました。統合による計画見直しについて、奥野武俊学長に確認を行ったところ、「予定されている統合までに、府大に入学した学生については、現在の中期目標と中期計画が適用される」との回答が得られました。

## 府市大統合についての情報が発信されているウェブサイト

大阪府／大阪府市新大学構想会議

<http://www.pref.osaka.jp/shigaku/kousoukaigi/>

大阪府市政 大阪府市新大学構想会議

<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000195825.html>

大阪市立大学との統合について | 大阪府立大学

<http://www.osakafu-u.ac.jp/info/integration/integration.html>

大学統合について - 大阪市立大学

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/corporation/integration>

## 立て看板管理局

### (1)立て看板の管理・運用

立て看板は使い方を間違えれば重大な事故につながる危険性があります。それを防ぐため、強風時などには立て看板を倒し、立て看板の利用方法に関して問題のある利用団体に対して利用方法の指導を行いました。

### (2)立て看板の管理団体に対する講習会

立て看板の管理団体(学生自治会、友好祭実行委員会、白鷺祭実行委員会)に対して、9月から10月にかけて立て看板の取り扱い方法に関する講習会を実施しました。

### (3)老朽化の進んだ立て看板の修理

7月5日に立て看板の一斉点検を行い、老朽化が特に激しかった立て看板29枚を8月23日と9月13日に修理しました。

### (4)白鷺祭本祭典中の管理体制の強化

白鷺祭本祭典中は、見回り回数を増やすことで立て看板の管理体制を強化しました。立て看板の近くで活動している人への注意喚起なども行いました。

また、立て看板の設置場所近くで開催されたフリーマーケットの出店者に対しては、事前に注意喚起のビラ配布も行いました。

## その他の活動

### (1)りんくうキャンパスの活動

りんくうキャンパスにおいても、意見箱の設置や『NASCA』の配布によって、情報収集・情報宣伝を行いました。

### (2)ステージ管理委員会

ステージの安全な管理・運用のため、月に一度、定例会を行い、話し合いをしました。また、管理局が中心となり、ステージの監視・保護およびステージの利用団体に対しての注意喚起などの管理業務を行いました。

### (3)第40回七夕祭実行委員会への協力

第40回七夕祭実行委員会へ、活動場所の提供や、実行委員として学生自治会役員の参加などの協力を行いました。

### (4)学生センターとの話し合い

学生団体連絡会議の構成団体として月に一度、大学と学生がお互いの実情を把握できるように、学生センターとの話し合いを行いました。

### (5)大型PA再購入実行委員会

月に一度、定例会を開き、第4期再購入を円滑に行えるように調整しました。また、『大型PA再購入実行委員会規約』の見直しと改定に関する検討も行いました。